

STAFF

考案 / 構成 / 音楽監督 / リコーダー
濱田芳通



YOSHIMICHI HAMADA

我が国初の私立音楽大学、東洋音楽大学（現東京音楽大学）の創立者を曾祖父に持ち、音楽一家の四代目として東京に生まれる。リコーダーとホルネットのヴィルトゥオーゾとして唯一無二の存在感を放つ。指揮者としての活躍も目覚ましく、主にオペラ創成期からバロックに至る初期の作品を精力的に上演している。また、南蛮音楽の研究をライフワークとしており、その成果としてCD「天正遣欧使節の音楽」リリース、芝居付き演奏会を各地で開催している。ホテルオークラ賞、サントリー音楽賞など多数受賞。

朗読
野中民美代

演出
吉野良祐



TAMIKO NONAKA



YOSHINO YOSHINO

出演

濱田芳通 & アントネッロ



ANTHONELLO

濱田芳通主宰にて1994年結成。以来〈作品が生まれた時のスピリット〉を大切に、躍動感、生命力が備わった、音楽の持つ根源的な魅力を追求している。国内外にてCD録音多数。古楽の解釈と演奏において第一線で活躍するグループとして常にメディアから高い評価を得ている。クラシック音楽の既成概念の枠を超えて純粋に『音楽性』を求めるその企画、作品は、クラシック音楽ファン以外からも注目と共感を集めている。
<https://www.anthonello.com/>



SHINO NAKAGAWA

ソプラノ
中川詩歩



TOSHIHARU NAKAJIMA

アルト
中嶋俊晴



TAKESHI TAIRA

テノール
田尻健



TADAIRO SAKASHITA

バス
坂下忠弘



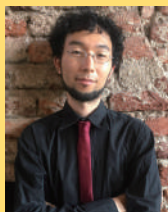
Mito Ito

ハープ
伊藤美恵



JUNZO TATEWA

パーカッション
立岩潤三



TSUYOSHI UEMURA

オルガン
上羽剛史

台本 タナカ・ミオ

制作 アントネッロ合同会社

TICKET

料金 ※未就学児入場不可 ※U25 割引各席半額(iichiko 総合文化センターのみで取扱い)

全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円

発売日

■友の会びび先行 ----- 6月5日(木)10:00 ~ ■一般発売 ----- 6月12日(木)10:00 ~

取扱い

- iichiko 総合文化センター
ホームページ
1階インフォメーション
- ローソンチケット(Lコード 84939)
- チケットぴあ(Pコード 295-308)
- トキハ会館 097-538-3111
- エトウ南海堂 097-529-7490

お問合せ

iichiko 総合文化センター[公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団]

〒870-0029 大分市高砂町 2-33 tel. 097-533-4004 ※土・日曜、祝日を除く 10:00~17:00

■演奏中の客席内への入退場は制限させていただくことがあります ■やむを得ない状況により、出演者等が変更になることがあります ■公演中止の場合を除き、予約・購入後のキャンセル・変更・払戻はできません ■営利を目的としたチケットの転売は法律で禁止されています。転売されたチケットは無効となる場合がございますので、ご注意ください ■未就学児童の同伴・入場はご遠慮ください ■無料託児サービス[要予約：8/22(金)17:00まで/満1歳~未就学児対象。先着5名]および車いす席のお問合せ・ご予約はiichiko 総合文化センター企画普及課(097-533-4004)までご連絡ください

PRESENT !!

親子ペア 無料ご招待 50組 100名

対象 大分県内在住の小中学生とその保護者2名1組

申込方法 QRコードを読み取りお申し込みください

申込締切

2025年7月31日(木)

※応募者多数の場合は抽選となります



公演特設サイト

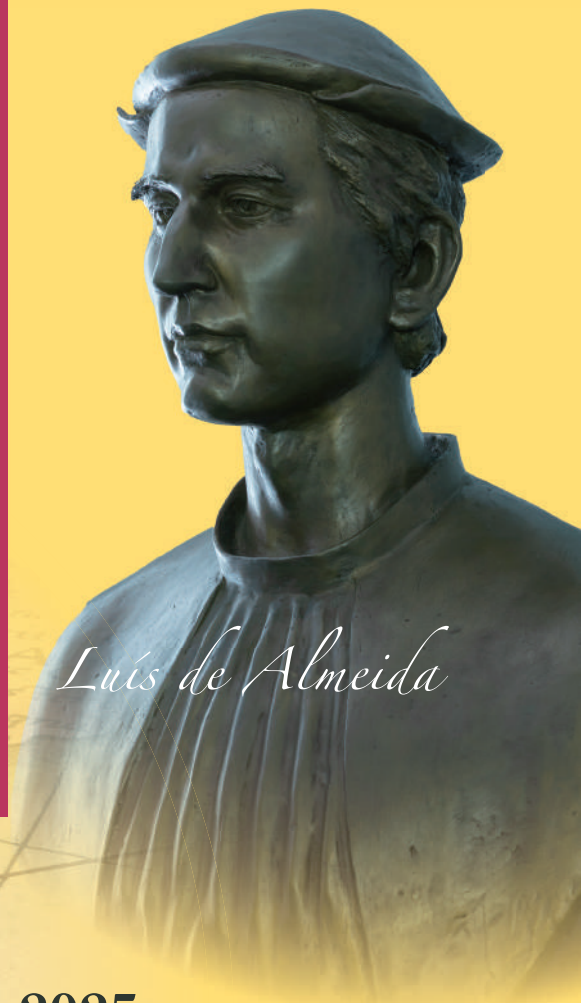


商人として、医師として、宣教師として。激動の人生を生き、大分で日本初の西洋式病院を開設したルイス・デ・アルメイダ。ザビエルと同じように大友宗麟と出会い、宣教師としても大きな功績を残した彼の生誕500年を祝して古楽器の音色にのせて、贈る、音楽劇。

宣教医 アルメイダ —— 西洋医術の伝来

語りと音楽でつづる

ルイス・デ・アルメイダ
生誕 500 年記念



Luis de Almeida

2025

9/6 土

13:30 開場

14:00 開演

16:00 終演

iichiko

総合文化センター

iichiko

音の泉ホール

■出演

濱田芳通 & アントネッロ

■考案・音楽監督

濱田芳通

■台本

タナカ・ミオ

主催 iichiko 総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団]

特別協賛 三和酒類株式会社

後援 大分県、大分市、大分県教育委員会、大分合同新聞社、大分市医師会

後援・協力 大分市教育委員会 協力 大分市医師会立アルメイダ病院



文化庁文化芸術振興費補助金
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



大分県企業局

▶ 聖フランシスコ・ザビエル像
【大分市 / 遊歩公園】

聖フランシスコ・ザビエル

Francisco de Xavier
1506 - 1552

- 1506 年 スペインバスク地方の貴族（ハビエル城）の家柄に生まれ、19 歳でパリ大学に留学。
- 1534 年 モンマルトルでのイエズス会創立に参加。
- 1541 年 リスボンを出帆しインドのゴア等で布教。
- 1549 年 鹿児島市に上陸、日本に初めてキリスト教を伝えた。
- 1551 年 大友宗麟に招かれ、キリスト教を説く。
- 1552 年 中国での布教に出発し、自身の代わりにポルトガル人のガーゴ神父を日本に派遣。同年広東省で 46 年の生涯を閉じる。日本に入ったガーゴ神父は府内でルイス・デ・アルメイダと共に活動する。

アントネッロの音楽劇を
より深く楽しむために…

誌面レクチャー

POINT. 01

500 年前の大航海時代、日本の戦国時代に生きたザビエル、大友宗麟、アルメイダのドラマティックな人生を見ていきましょう！

POINT. 02

3 人の人生がどのように交差していくのか？ それによってどんな歴史が展開していくのかに注目です。

大友義鎮（宗麟） ドン・フランシスコ

Yoshishige / Sorin Otomo
Don Fransisco
1530 - 1587

▶ 大友宗麟公像
【大分市 / JR 大分駅北口】

- 1530 年 豊後国守護大名・大友義鑑の嫡男として府内で生誕。
- 1550 年 異母弟を担いだ家臣の反乱により、弟及び父・義鑑が死去。20 歳で家督を継ぎ大友家 21 代当主となる。
- 1551 年 フランシスコ・ザビエルを招きその教えに耳を傾ける。キリスト教の布教を許可。
- 1553 年 府内・大友館の近くに教会がつくられる。
- 1555 年 アルメイダの病院開設を許可し、活動を支援。
- 1559 年 北部九州 6 カ国（豊後、豊前、筑前、筑後、肥前、肥後）の守護となる。
- 1578 年 48 歳で洗礼を受ける。ザビエルの名前に由来し、洗礼名はフランシスコ。同年薩摩の島津軍と戦うため日向（延岡の務志賀）に出陣するも大敗。この時、アルメイダも宗麟に同行。
- 1582 年 伊東マンショら天正遣欧少年使節を派遣。
- 1585 年 少年使節、ローマ法王に謁見。
- 1587 年 津久見で 57 年の生涯を閉じる。宗麟の没後、豊臣秀吉がキリスト教宣教師追放令を出す。
- 1590 年 伊東マンショら使節が帰国。

▼ 2021 年に iichiko 音の泉ホールで開催された
アントネッロ「天正遣欧少年使節の物語」より

POINT. 03

コンサートは、アルメイダの物語が、古楽器の演奏とともに歌と朗読で綴られる音楽劇です。歌手の皆さんが、時にコミカルに演じる場面も登場する、笑いあり、涙ありの見応えあるステージにご期待ください！

古楽器の音色が素敵！

演奏に使われるのは 16 世紀にも奏でられていた古楽器。ライブであまり聴くことのできないアンティークな音色にうっとり♡

大分だけのオリジナル台本！

今回は、生誕 500 年を迎えたアルメイダにゆかりある、大分だけのオリジナル台本をアントネッロが特別に企画！大分でしかお目にかかれないコンサートです。

◀ ルイス・デ・アルメイダ像

POINT. 04

世界と日本の動き

- 1498 年 ヴァスコ・ダ・ガマがインド航路を発見
- 1500 年前後 レオナルド・ダ・ヴィンチが人体を解剖 世界初の解剖図を記す
- 1517 年 ルターの宗教改革
- 1519～21 年 マゼランの世界周航
- 1543 年 ポルトガル人が種子島に漂着 日本に鉄砲伝来
- 1553～64 年 戦国時代最大の激戦のひとつ 川中島の戦い（武田信玄 vs 上杉謙信）
- 1560 年 桶狭間の戦いで織田信長が勢力拡大
- 1573 年 室町幕府滅亡
- 1582 年 本能寺の変（信長死去）
- 1587 年 豊臣秀吉 九州平定

▶ 西洋医術発祥記念像
【大分市 / 遊歩公園】

日本初の西洋式病院だった 「府内病院」

宗麟が許可し、アルメイダが開設した「府内病院」は、日本初の西洋式病院でした。日本ではそれまで漢方療法が行われていましたが、アルメイダにより、西洋医学に基づく外科的施術（切開、切除や摘出、止血、縫合等）が初めて行われ、刀傷、銃創などの外傷、腫物、慢性化膿症等の治療がなされました。病院では「ミゼリコルディア（慈悲の組）」と呼ばれる人々が無償で病院の看護などにあたりました。場所は、現在の大分市顕徳町あたりと推定されています。

▼ 府内病院模型

ルイス・デ・アルメイダ

Luís de Almeida
1525 - 1583

- 1525 年 ポルトガル・リスボンでユダヤ系貿易商の家に生まれる。
- 1546 年 リスボンの大学で外科医術を学び免許を授与される。
- 1548 年 インドのゴアに渡り貿易商として大きな富を築く。
- 1552 年 初めて日本に入り山口を訪れる。
- 1555 年 30 歳の時に 2 度目の来日。日本でイエズス会に入り、府内のガーゴ神父のもとで活動。貧しさで捨てられる乳児のため育児院をつくる。
- 1557 年 貿易商として築いた私財を投じ、宗麟に願い出て府内病院を開設（外科、内科、ハンセン病科）。アルメイダは外科治療にあたった。入院患者は 50 名程度を受け入れ、外来診療は 30 ～ 100 名に対応した。京都、堺からも治療を受けに来た。
- 1558 年 臨床医学教育を行う。
- 1559 年 病院を増改築、入院は 100 名程度を受け入れ可能に。外来は 200 名を超すこともあった。
- 1560 年 イエズス会本部から、聖職者は人間の生命に関わる医療施術に関わってはいけない趣旨の「聖職者の医療禁令」の通知が届き、アルメイダは府内病院での医療行為から手を引く。
- 1561 年 36 歳で豊後を出て、以後 22 年間、開拓伝道士として九州各地（平戸、薩摩、島原、五島、長崎、天草等）で布教を行う。この間、たびたび府内を訪れる。
- 1578 年 宗麟の日向遠征に同行。
- 1579 年頃 神父に叙階。
- 1581 年 天草全島の教会責任者となる。
- 1583 年 天草にて 58 年の生涯を閉じる。宣教師のルイス・フロイスは著書の『日本史』においてアルメイダの博愛精神と功績を讃え、「アルメイダの名は日本から消え去ることはない」と追悼した。

▶ アルメイダは外科手術を病院のベランダで行いました。手術には外光の明るさを必要としていたことと、外科手術を公開し優れた医療技術であることを世間に周知するねらいと考えられます。

